

熊本大学：地方創生実践論Ⅰ

「熊本経済同友会および肥後銀行の 地方創生の取組み」

2023年8月4日

熊本経済同友会代表幹事/株式会社九州フィナンシャルグループ代表取締役社長

株式会社肥後銀行代表取締役頭取

笠原 慶久

1. プロフィール

2. 熊本県の現状

3. 産学官金連携による地方創生の取組① 【熊本経済同友会】

4. 産学官金連携による地方創生の取組② 【肥後銀行】

5. まとめ

1. プロフィール

2. 熊本県の現状

3. 産学官金連携による地方創生の取組① 【熊本経済同友会】

4. 産学官金連携による地方創生の取組② 【肥後銀行】

5. まとめ

1. (1) プロフィール 笠原慶久



かさはら よしひさ
笠原 慶久

1962年 1月 5日 生まれ
(満61才)

出身地 : 東京都
出身大学 : 慶應義塾大学
経済学部

職歴

- 1984年 4月 富士銀行 入行
三田支店、大阪営業部、米国留学(MBA)、ロサンゼルス支店、人事部、みずほホールディングス人事部 等を経て
- 2007年 4月 みずほ銀行 熊本支店長
- 2014年 4月 みずほ信託銀行 常務執行役員
- 2015年 4月 (株)肥後銀行入行 常務執行役員 監査部長
- 2016年 6月 九州フィナンシャルグループ 取締役
- 2018年 4月 (株)肥後銀行 代表取締役 副頭取
- 2018年 6月 (株)肥後銀行 代表取締役頭取 (現任)
- 2019年 6月 (株)九州フィナンシャルグループ 代表取締役社長 (現任)
- 2019年 7月 (公財) 地方経済総合研究所 代表理事 (現任)
- 2021年 4月 熊本経済同友会 代表幹事 (現任)

趣味

読書・テニス・ゴルフ・ジョギング・囲碁(二段)・音楽絵画鑑賞



@YOSHIHISA.KASAHARA



経済同友会とは…

～ 企業経営者等が**個人の資格**で参加し自主独立の精神をもつ経済人のあつまり ～
 全国で44都道府県において、経済同友会が構成

【参考】 経済同友会設立趣意書(昭和21年4月)抜粋

- 日本はいま焦土に等しい荒廃の中から立ち上がろうとしている。…
- … われわれは経済人として新生日本の構築に全力を捧げたい。…
- … 本会は日本経済の再建を標榜する中堅社会人有志の機関であるが、その立場はあくまで経済職能芸人もしくは経営技術者としての立場を採る。…

<熊本経済同友会の概要>

団体名	熊本経済同友会	設立	1955年9月
所在地	熊本市中央区城東町4-2	会員数	330名 (2023年3月現在)
代表幹事	■ 笠原 慶久 <(株)肥後銀行> ■ 平田 雄一郎 <平田機工(株)>		
副代表幹事	■ 野々口 弘基 <(株)地域交通ホールディングス> ■ 福岡 哲生 <(株)鶴屋百貨店> ■ 富永 哲生 <(株)ハウディ> ■ 井原 宏 <熊本トヨタ自動車(株)> ■ 野田 珠実 <(株)野田市兵衛商店>		

【2023年度 活動方針】

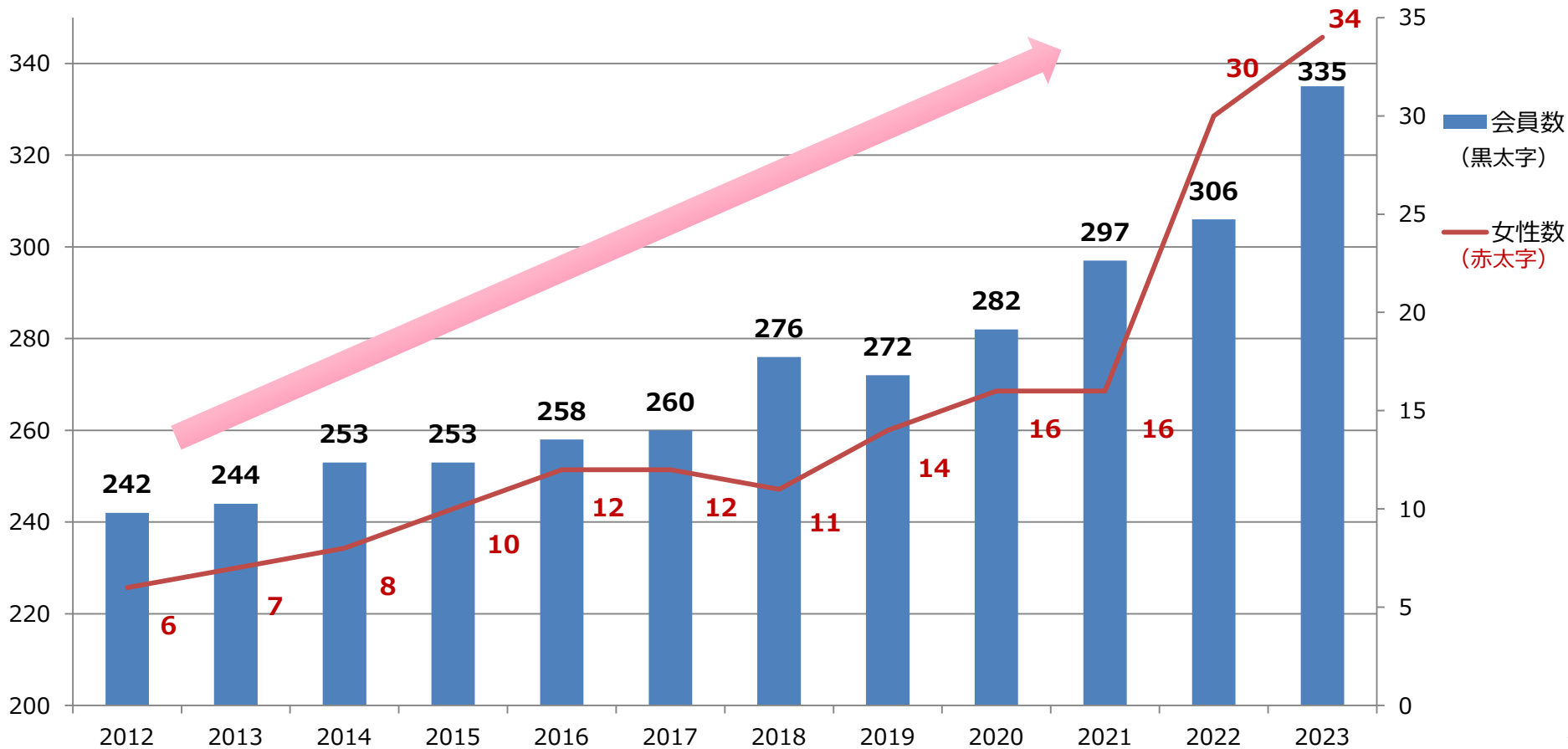
同友会全世代・産官学の力を結集し、行動する集団に変革しよう！
 ～選ばれる熊本を共創する～

1. 人的資本投資と健康経営を推進し、企業価値向上を図る
2. 個別企業と地域全体の両面でDXを推進し、SDGsの実現を主導する
3. 同友会全世代・産官学の力を結集し、経済活性化の波を熊本から起こす



1. (2) プロフィール 熊本経済同友会

熊本経済同友会 会員数・女性会員数 推移

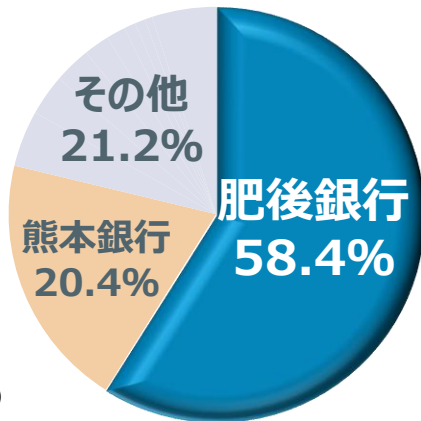


1. (3) プロフィール 肥後銀行

創立	大正14年7月25日
総資産	6兆9,779億円
預金	5兆5,180億円
貸出金	4兆4,121億円
店舗網	125か店 (県内111、県外12、海外2)
従業員数	2,170人
自己資本比率	10.00%

(2023年3月末現在)

2022年度 熊本県内 メインバンク 割合



(出所：東京商工リサーチ資料)

【肥後銀行 企業理念】

1. お客様第一主義に徹し、最適の金融サービスを提供します
2. 企業倫理を遵守し、豊かな地域社会の実現に積極的に貢献します
3. 創造性に富み、自由闊達で人間尊重の企業文化を確立します

地方銀行総資産ランキング

順位	銀行名	総資産 (兆円)
1	ふくおかフィナンシャルグループ	29.2
2	めぶきフィナンシャルグループ	24.1
3	コンコルディアフィナンシャルグループ	24.1
4	千葉銀行	19.1
5	ほくほくフィナンシャルグループ	17.3
6	静岡銀行	14.9
7	九州フィナンシャルグループ	14.2
8	北洋銀行	13.5
9	八十二銀行	13.3
10	西日本フィナンシャルホールディングス	13.1

※各行の決算短信資料より(2022年3月末現在)

私達の存在意義 = パーパス



私たちは、お客様や地域の皆様とともに、
お客様の資産や事業、地域の産業や自然・文化を
育て、守り、引き継ぐことで、
地域の未来を創造していく為に存在しています

10年
ビジョン

お客様、地域、社員とともに、より良い未来を創造する
『地域価値共創グループ』への進化

企業価値の創造

社会の持続的発展への貢献 (SDGs)

1. プロフィール

2. 熊本県の現状

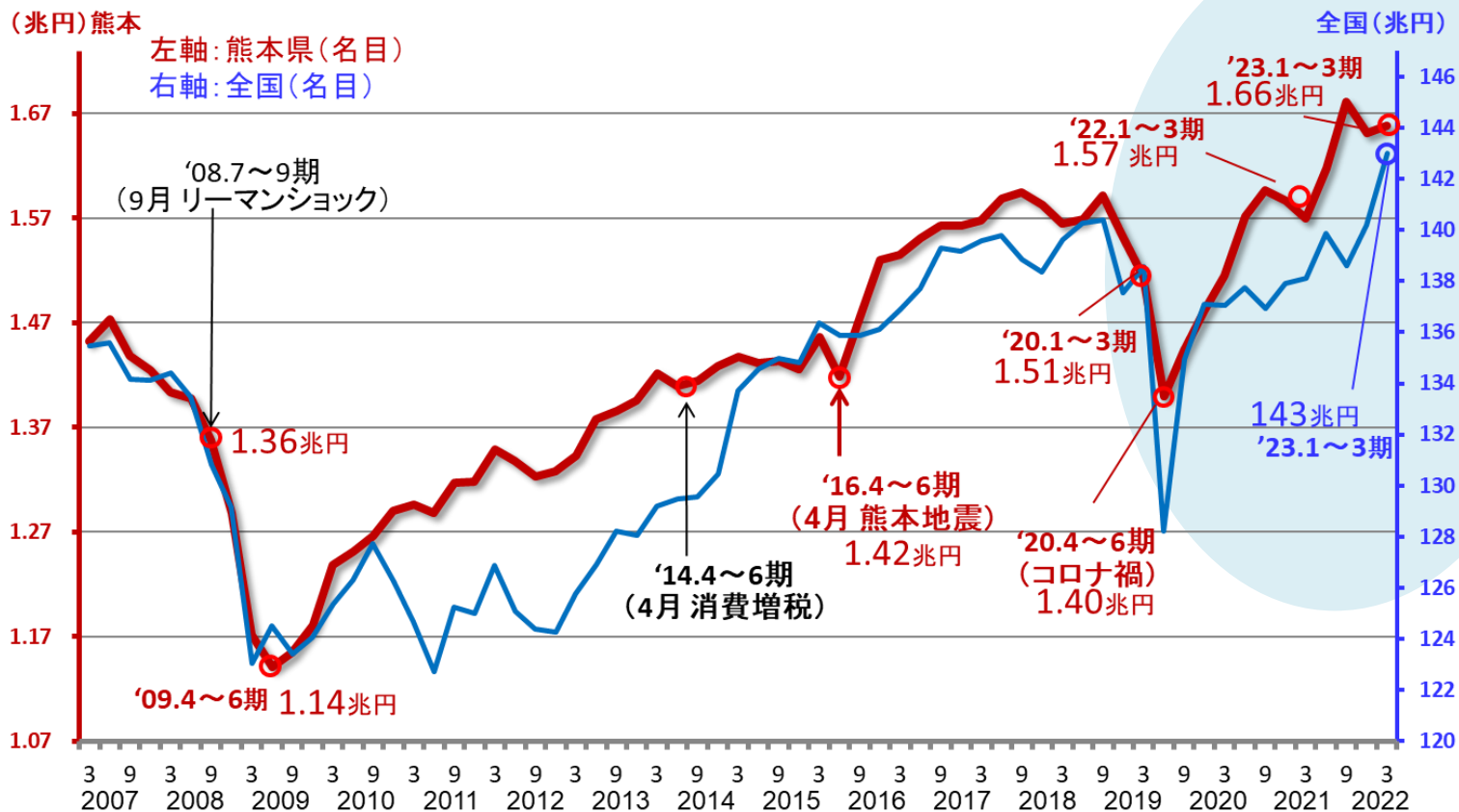
3. 産学官金連携による地方創生の取組① 【熊本経済同友会】

4. 産学官金連携による地方創生の取組② 【肥後銀行】

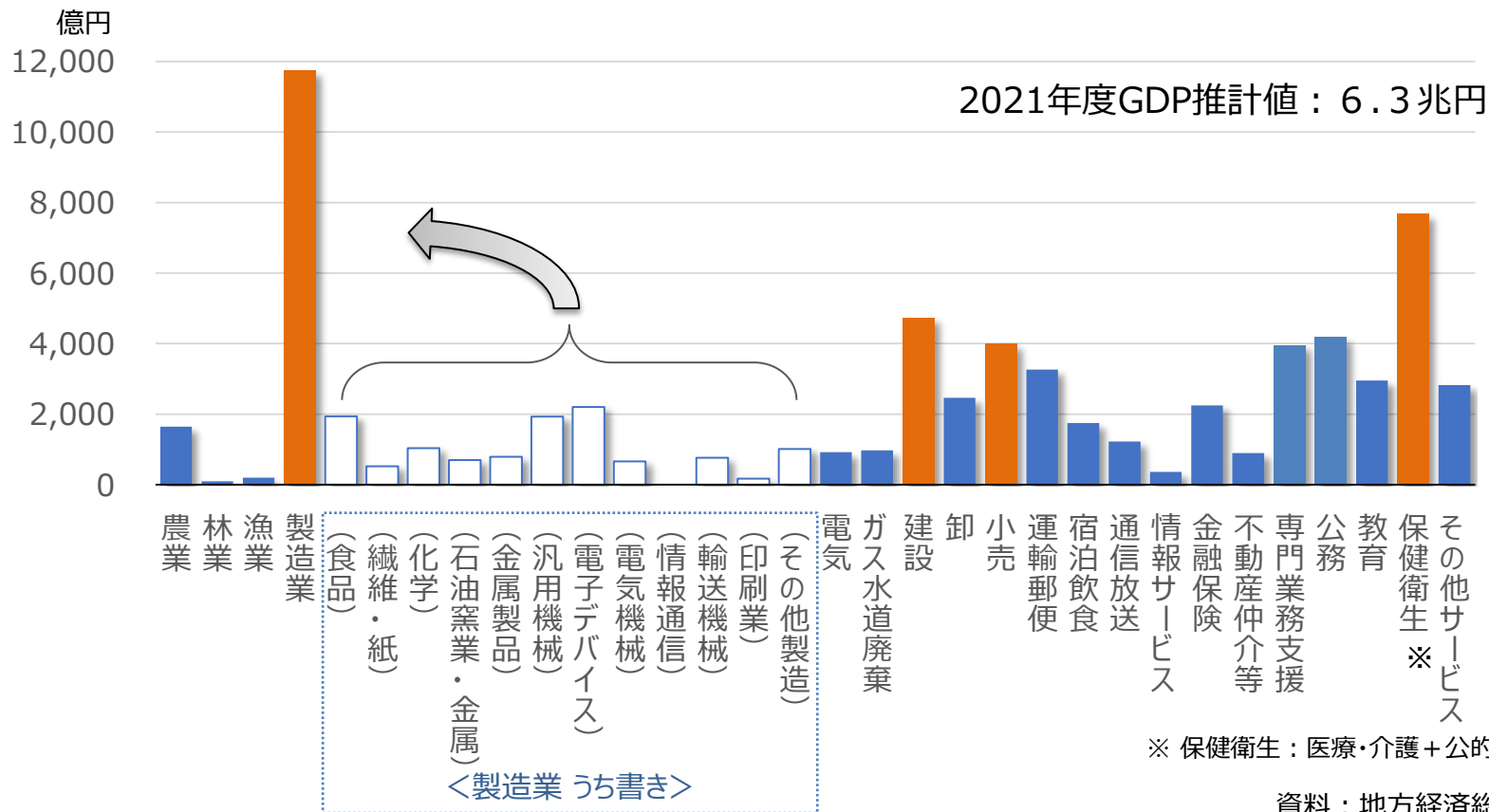
5. まとめ

2. (1) 熊本県 域内総生産推計 <四半期>

- 熊本県の域内総生産（四半期、名目、地総研推計）は**産業集積と共に順調に増加**
- コロナ禍からの回復も早く、全国と比べ**1～1.5年先行して経済回復**

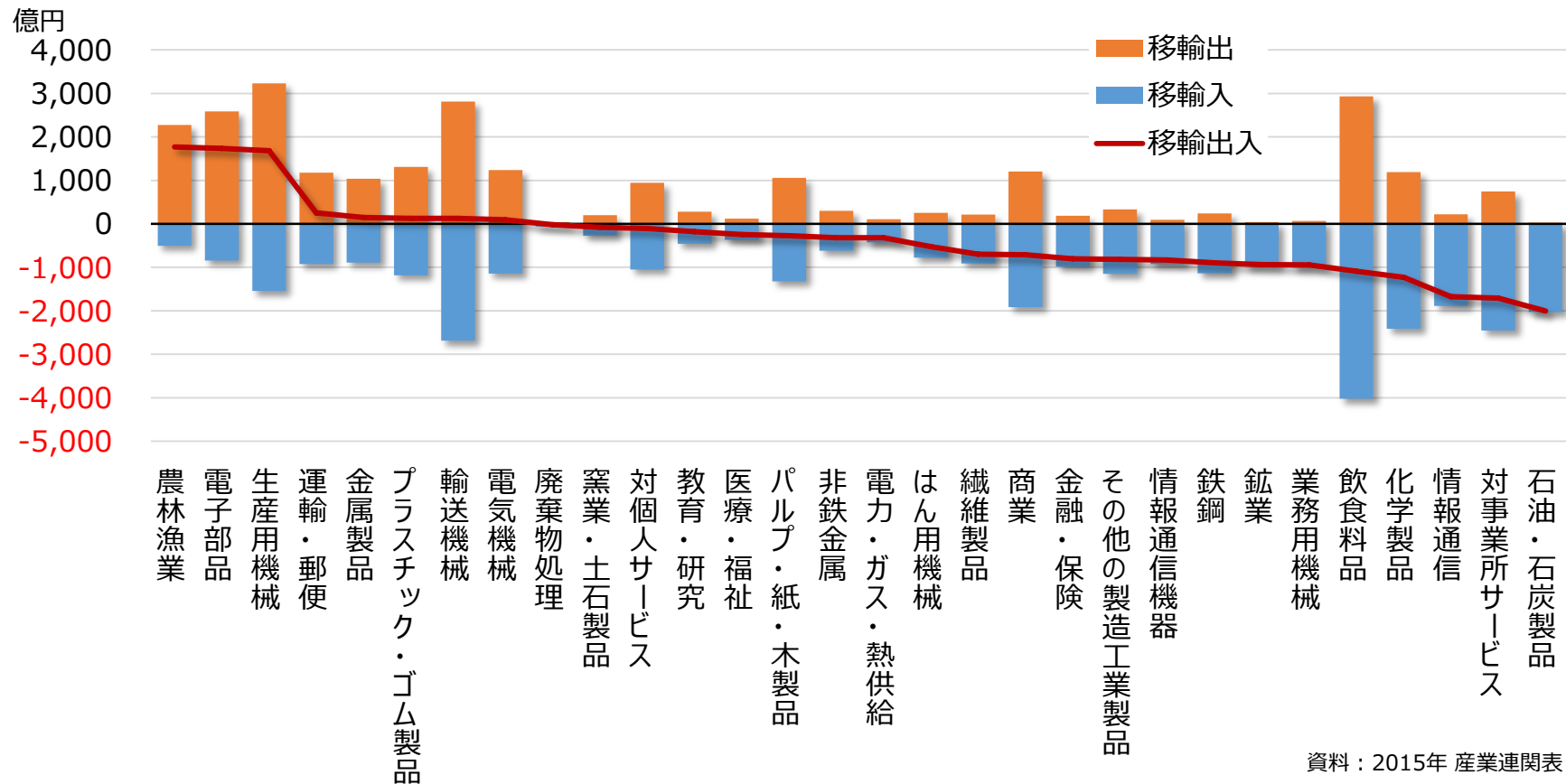


- ▶ 熊本県のGDPを牽引するのは、**製造業、建設業、小売業、保健衛生等**
- ▶ 今後更に**TSMC進出、ソニー・三菱電機の工場拡張、関連産業の集積等の効果**が加わってくる



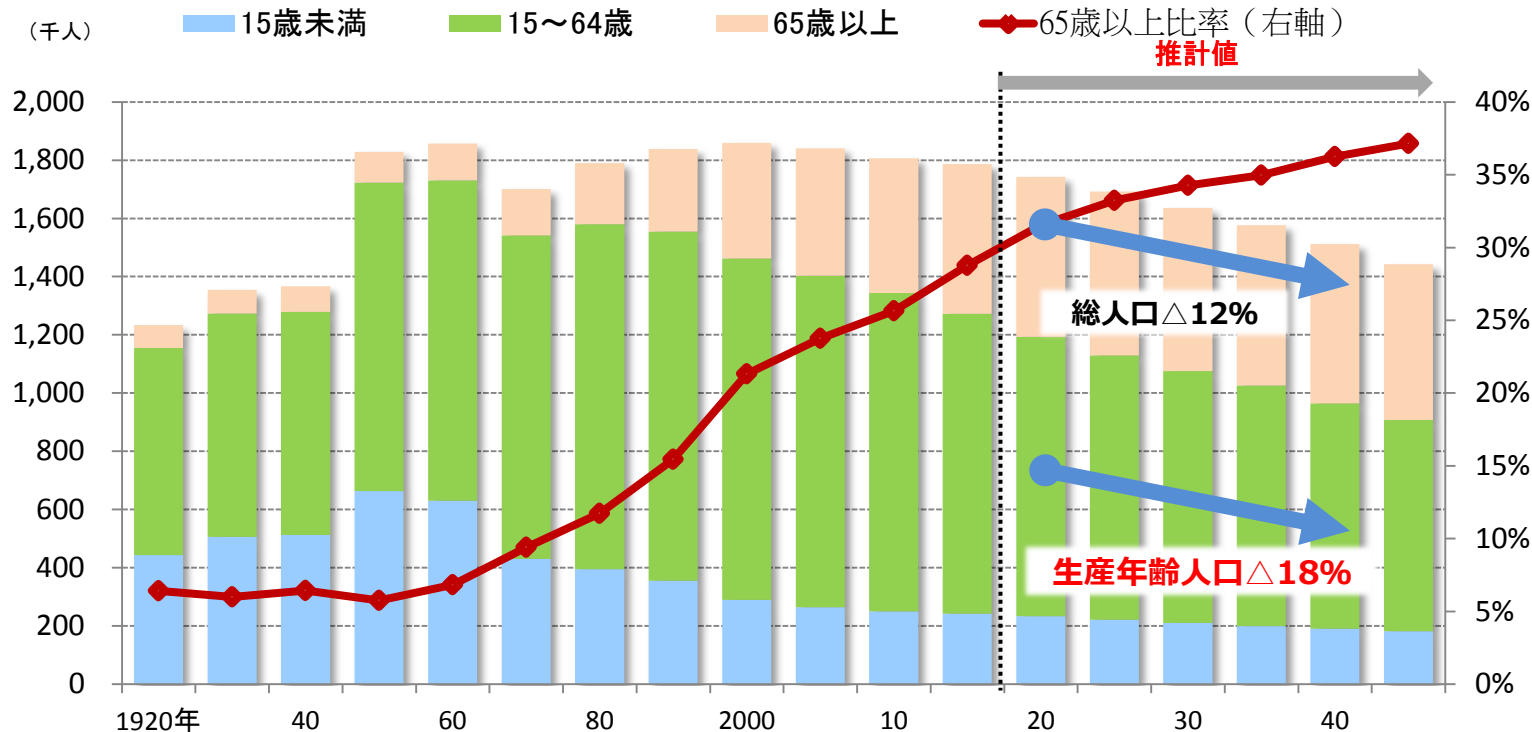
2. (3) 熊本県の産業構造～業種別域際収支

- 熊本県の域際収支（≒国の貿易収支に相当）は「農林漁業」「電子部品」「生産用機械」で黒字
- この得意分野を伸ばし、それ以外の分野の収支を改善していくことが課題



2. (4) 熊本県の将来人口

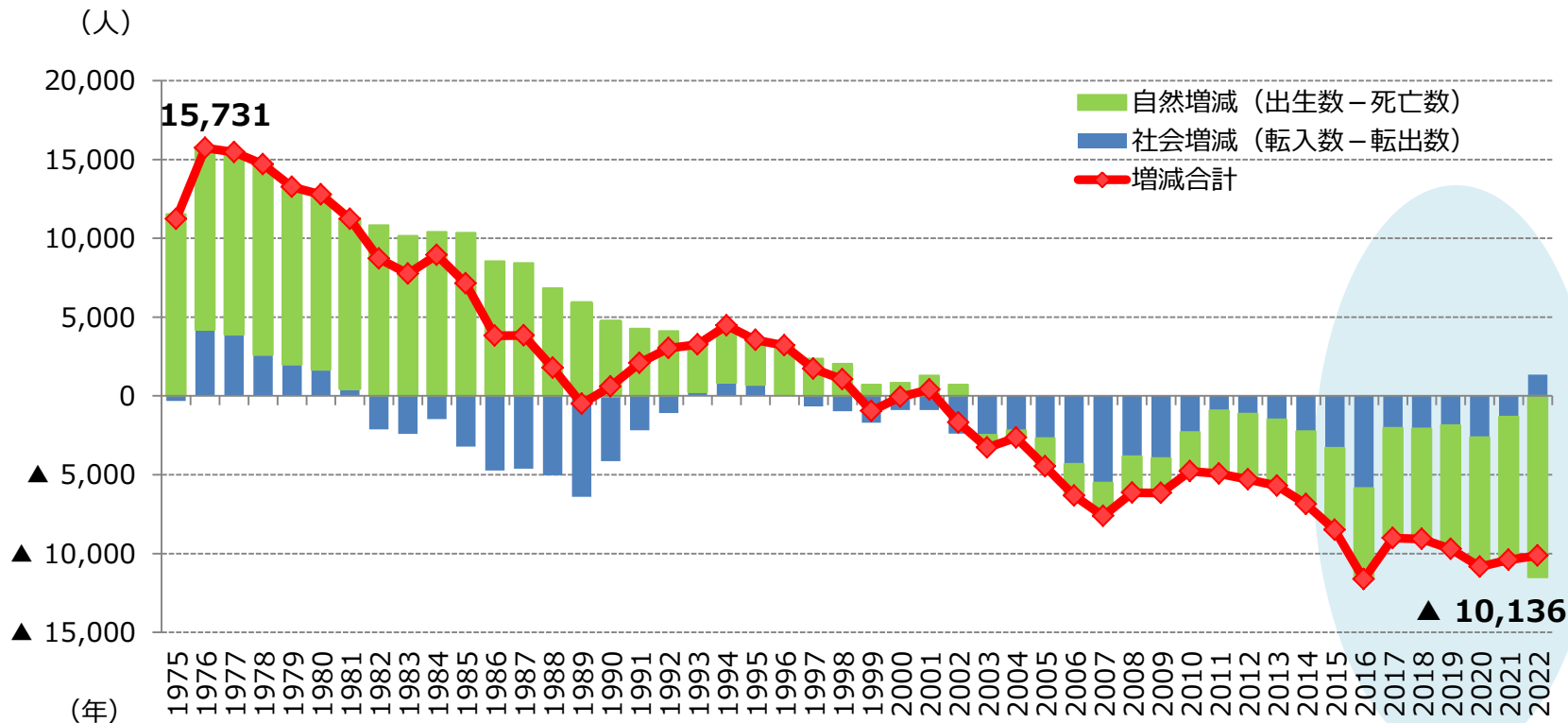
熊本県**総人口**は、2020年170万人から、**2040年150万人へ12%減**
生産年齢人口は、同94万人から、77万人へ**18%減** ⇒ **労働力確保は熊本でも大きな課題**



資料: 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所

2. (5) 熊本県の人口増減推移

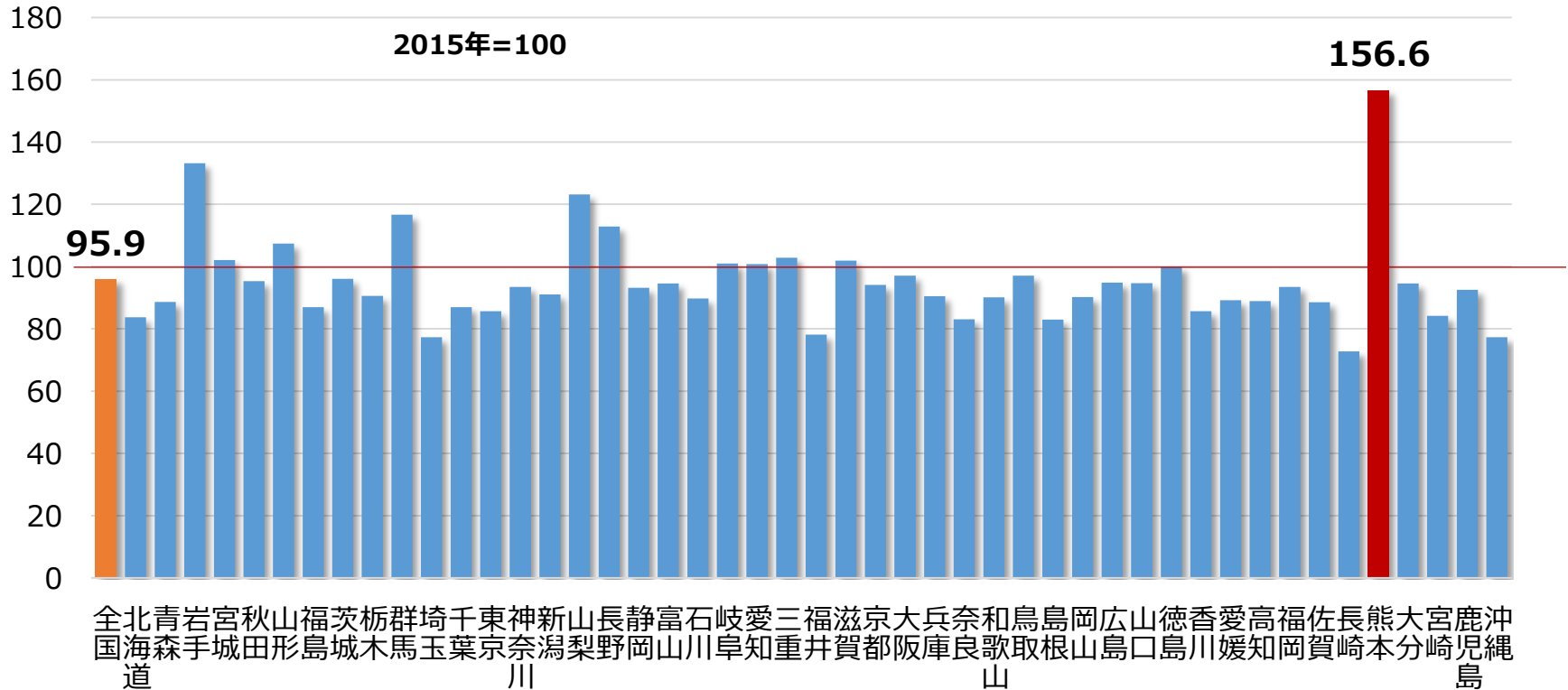
- 県内では自然減を主因に **毎年10,000人、人口が減っている**
- 一方で**社会増減は直近改善傾向**にあり、**産業集積のプラスの効果**が出てきている可能性がある



資料：総務省

2. (6) 鉱工業生産指数①

▶ 47都道府県の鉱工業生産 ⇒ **熊本県が突出** (2023年3月)
 自治体間での数字比較に意味はないが、熊本県の場合**産業集積の状況**を表している



2. (6) 鉱工業生産指数②

- 全国と熊本の鉱工業生産指数 ⇒ **ベクトル・勢いの違いは明瞭**
- この動きは2030年前後にかけて、更に加速するものと見込まれている



2. (7) 熊本県の人員不足の状況

- 現時点で想定される10年後（2030年）の熊本県の人員不足は以下の通り
- **産業のDX化および地域への移住者増加により、地域経済の維持・成長に繋げる事が課題**

現時点の不足人員

2.8万人

2021年 熊本県有効求人数年間平均（熊本労働局）

生産年齢人口減

7.2万人

2020年→2030年 生産年齢人口推計（社会保障・人口問題研究所）
× 生産年齢人口就業率77%

産業振興に伴う追加労働力

2.0万人

2030年 県GDP・製造品出荷額目標（2020年熊本県産業成長ビジョン）より推計

合計

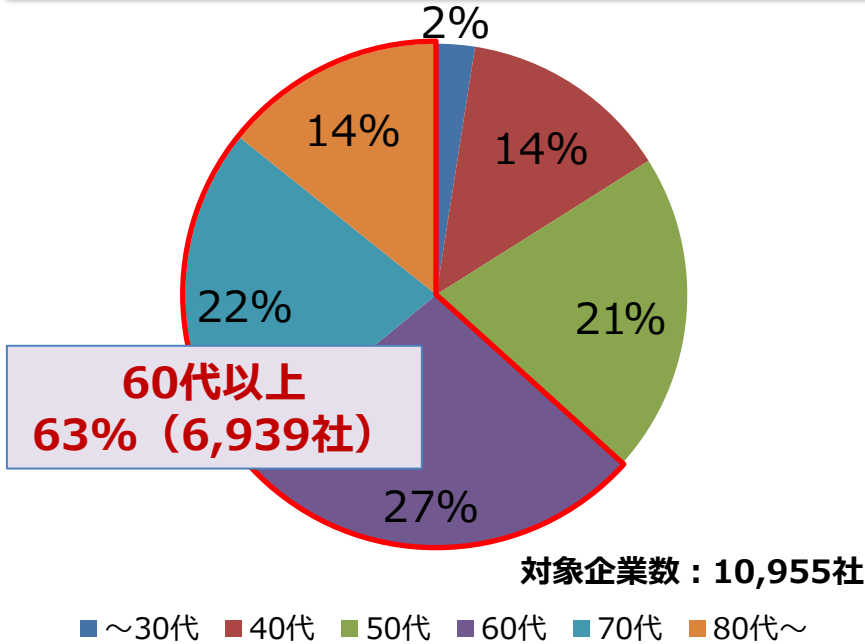
12.0万人 ←

不足

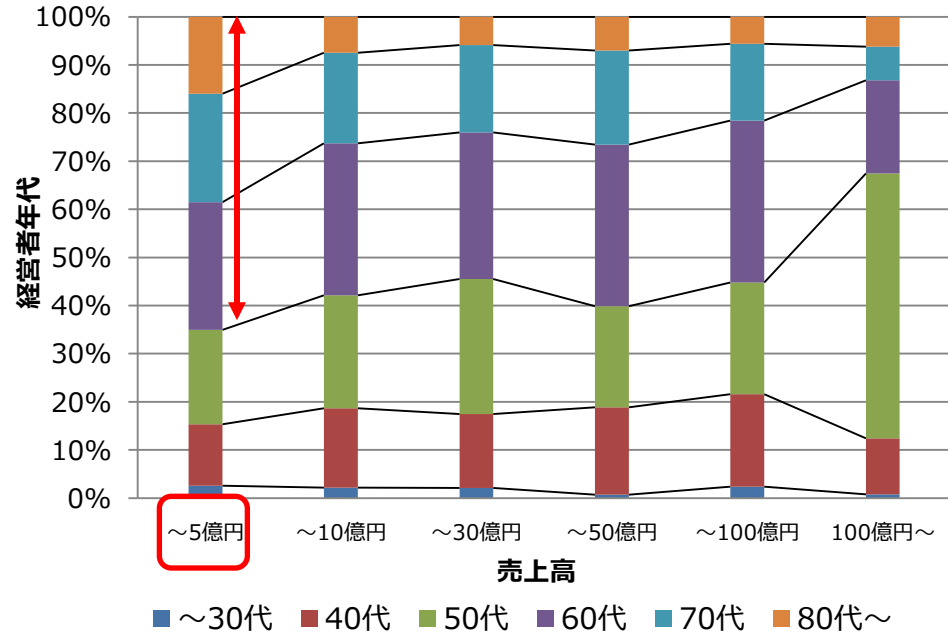
これは**県内就業者数**83万人（2015年）の**14%に相当**

2. (8) 熊本県の事業承継の状況

熊本県内企業経営者の年代



売上規模別 経営者年代構成比



60代以上の経営者が6割以上を占め、特に売上高5億円未満の企業の同比率が高い

将来的な事業承継が課題

〔出所：肥後銀行取引先データ、帝国データバンクCOSMOSデータより作成〕
(2021年8月現在)

データ分析結果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 熊本県のGDPは、コロナ禍以前の水準迄達しており、全国的にも早期の回復を実現 	<p>県内の企業利益および個人所得増加</p>
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 熊本県では、農林漁業、電子部品が域際収支を牽引 	<p>強みである主要産業の域際収支の拡大と、弱み部分の収支縮小</p>
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 生産年齢人口の減少が予測されている ➤ TSMC進出でより一層人手不足は顕著に 	<p>移住・定住、交流人口の拡大 徹底したDX</p>
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 熊本の鉄工業生産指数は、産業集積を背景に全国での伸び率はトップ。 	<p>工業用地および労働力確保 交通インフラ整備</p>
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 後継者が決まっていない事業者の高齢化 	<p>オープンイノベーションによる業種を超えた連携/M&A</p>

1. プロフィール

2. 熊本県の現状

3. 産学官金連携による地方創生の取組① 【熊本経済同友会】

4. 産学官金連携による地方創生の取組② 【肥後銀行】

5. まとめ

熊本経済同友会 2023年度 活動方針 抜粋

1. 人的資本投資と健康経営を推進し、企業価値向上を図る

これからの時代に求められる知識・技能への適性を高めるため、私たち**自らが率先垂範して学びを深め、従業員とともに企業が成長する仕組みづくり**を行う。更に今後、国内外からの産業集積や人員・人材確保の過程で、多様性や包摂性を積極的に高めることにより企業全体の成長につなげる。

2. 個別企業と地域全体の両面でDXを推進し、SDGsの実現を主導する

社会変容の大きな流れに対応するため、私たち自らが徹底的にデジタル化を通じた改善・変革に取り組み、積極的に社会全体のDXを促す。**身近な課題をDXで解決することでSDGsの実践にもつなげ、持続可能な社会・熊本の実現を主導**する

3. 同友会全世代・産官学の力を結集し、経済活性化の波を熊本から起こす

産業集積の新たな流れも好機としつつ、地球規模の広い視野を持ちながら、豊かな**地域資本（自然、社会、文化、人）をALL熊本でベクトルを合わせて磨き上げ、新しい魅力を提供し、経済資本へ転換**する。私たち自らが「行動する集団」となることで、経済界と行政・大学や研究機関が一丸となって、全世界から選ばれる熊本を共創する。

3. 熊本経済同友会の取組

月	2022年度 活動実績
4月	第34回 全国経済同友会セミナー
	青壮年部会「熊本の美味しいランチ」懇親会
	2022年度 通常総会・記念講演会
	(1) 2021年度 事業経過報告及び決算承認
	(2) 2022年度 活動方針(案)の議決
	(3) 2022年度 収支予算(案)の議決
	(4) 2022年度 幹事・会計幹事の選任及び正・副代表幹事他役員、委員長等の報告
4月例会 「日本の課題」	講師:日本プロフェッショナル野球組織 コミッショナー 齊藤 惇 氏
	5月
5月	国立大学法人熊本大学と熊本経済同友会との包括的連携に関する協定調印式
	5月例会 「ビジネスの武器としてのデザイン」 講師:(株)KEN OKUYAMA DESIGN 代表 奥山 清行 氏

月	2022年度 活動実績
6月	6月例会 テーマ 「コロナ禍がもたらした市場価値の変化と地域空港の役割」 講師:(株)バイカーズパラダイス ゼネラルプロデューサー 福水 託 氏
	青壮年部会「県産酒と郷土料理を学ぶ夕べ」
7月	経営活性化・DX、サステナビリティ委員会合同 テーマ『持続のカギは「三方よし」』他
	経営活性化・DX、産官学連携委員会合同 テーマ「新しい人材育成の形を模索する」
8月	熊本の価値創造委員会 テーマ 「移住定住の推進に向けた取組みについて」
	少子化対策・女性活躍委員会 テーマ「少子化対策への取組み」
	熊本の価値創造委員会 熊本県産の酒50蔵を巡るツアー
	8月例会 テーマ「日本経済の行方と女性の活躍」 講師:経済ジャーナリスト 内田 裕子 氏

3. 熊本経済同友会の取組

月	2022年度 活動実績
9月	第25回熊本フォーラム 分科会①「ニューノーマル時代に即したDX推進による企業力強化の取組み」 分科会②「SDGsを活用し、企業価値を高めるための具体的な施策の検討」他
11月	11月例会 テーマ 「ファミリービジネス」 講師：星野リゾート 代表 星野 佳路氏
12月	大分・熊本経済同友会交流懇談会 テーマ 「SDGsがつなく新たな関係構築にむけて」 講師：慶応義塾大学教授 蟹江 憲史
1月	経営活性化・DX委員会 テーマ「データサイエンスは熊本発展の強力な武器である」講師：熊本大学院先導機構 教授 中村 振一郎氏 他

月	2022年度 活動実績
1月	1月例会 テーマ「シリコンアイランドの再興～半導体産業の現状と未来～」 講師 熊本県産業振興顧問 今村 徹 氏
2月	産官学連携委員会セミナー テーマ 「熊本大学との共同研究好事例から学ぶ」 講師：トイメディカル(株) 竹下社長 2月例会 テーマ「九州経済の新たな挑戦に向けて」 講師：九州経済産業局 苗村局長
	少子化対策・女性活躍委員会 テーマ 「経営陣に知ってほしいライフデザイン」 講師：(株)ヒトコト社代表 村上 美香氏
	まちづくり委員会 スマートシティの推進について 熊本市政策局 政策企画課 迫本課長 他
3月	3月例会 テーマ 熊本大学を核に「繋ぐ、結ぶ、くまもとの未来」 ～共創による地方が輝く地方創生の取組み～ 講師：熊本大学 熊本創生推進機構 金岡教授

熊本大学との包括連携協定 （締結日：2022年5月9日）

【協定内容】

- （1）熊本経済同友会企業との共同研究推進
- （2）大学発ベンチャー育成に向けた支援体制構築
- （3）人材育成支援およびリカレント教育支援
- （4）オープンイノベーションの推進
- （5）その他、両者が合意する事項

- ・文部科学省「地域活性化人材育成事業～SPARC～
にて事業協力機関として参画
- ・熊本大学と熊本経済同友会企業との共同研究に繋げる



写真：連携協定締結式

台湾経済団体「中華民国三三企業交流会」、「台日 商務交流協進会」との業務協力覚書締結 （締結日：2023年6月29日）

【目的】

- ・日台相互の人的交流や情報交換を活発化させ、
双方の経済発展を目指す。



写真：連携協定締結式

- TSMCの熊本進出を機に、「熊本」への注目が高まる
- 現地の大手企業が在籍する三三企業交流会（日本で言う経団連）および台日
商務交流協進会との覚書締結し、日台交流を強化し、双方の経済発展に寄与

熊本経済同友会 委員会活動

企画総務 委員会	熊本フォーラム 委員会	サステナビリティ 委員会
経営活性化・DX 委員会	産官学連携 委員会	まちづくり委員会
熊本の価値創造 委員会	少子化対策・女性 活躍委員会	会員交流委員会

（1） 企画総務委員会

- ① 魅力ある例会の企画運営
- ② 会員拡大（青壮年部会、他委員会と協力、特に若手・女性の拡大）
- ③ 各種会議の運営（代表幹事会・常任幹事会等・他団体との会議・新入会員オリエンテーション）
- ④ 各委員会との情報共有、連携促進（委員長会）
- ⑤ 大分経済同友会との交流会（大分開催）

（2） 熊本フォーラム委員会

- ① 全体プログラム計画策定（全体会議、分科会、懇親会、エクスカージョン等）
- ② 日程の決定
- ③ 場所の決定（会議場、懇親会場、宿泊先、エクスカージョン等）
- ④ 開催地域の方々との交流企画
- ⑤ 新しいスタイル（地域の文化と特性を活かす）の検討

（3） サステナビリティ委員会

- ① 熊本経済同友会としてのSDGsの活動指針を作成
- ② 「本業を通じて社会に貢献する」を実践している企業（県内外）の視察を行う
- ③ 中小企業がSDGsを推進していくための最適な組織体制についての研究を行う
- ④ SDGsを柱に据えたイノベーション、マネタイズ構築方法についての研究を行う。
- ⑤ セミナーの開催や事例発表会などを行う
- ⑥ 「熊本フォーラム」分科会の企画、運営を行う

（４） 経営活性化・DX委員会

- ① D X 関連の勉強・情報交換の場として研修会を開催する
- ② 各委員会と連携を図り産官学連携のD X 人材育成プログラムに協力する
- ③ D X 企業事例（働き方・生産性向上など）を中心に先導的D X 企業訪問・研修を行う
- ④ 会員企業間の訪問・情報交換・懇親 ⑤ 熊本フォーラム分科会の企画・運営

（５） 産官学連携委員会

- ① 行政が取り組んでいる施策・苦しんでいる問題点を同友会会員で知る
- ② リカレント・リスキリングに先進して取り組んでいる企業の制度設計を学ぶ ③ 大学生と意見交換を実施し、同友会として大学連携の中で協力できる部分の構築を行う ④ 年間を通し各委員会と連携を図り意見を収集し、2023年度の熊本県・熊本市宛の提言をまとめる ⑤ 熊本フォーラムへの積極的参加

（６） まちづくり委員会

- ① 「熊本市中心市街地グランドデザイン2050」の具現化
- ② 熊本市第8次総合計画（2023年度策定予定）
- ③ 半導体関連産業集積の動向を踏まえた熊本都市圏のまちづくり
- ④ 持続可能な交通のベストミックス等

（7） 熊本の価値創造委員会

- ① 熊本の自然と歴史に育まれた県産酒（50蔵）のP R企画の完成と酒蔵巡りツアー実施
- ② 熊本の魅力の新たな発掘・発信に繋がり得る、時代を担う若者たちの夢応援に向けた取組
- ③ 委員会と連携しD Xによる新たな「移動」可能性を学ぶ
- ④ 熊本フォーラム分科会企画・運営

（8） 少子化対策・女性活躍委員会

- ① 女性活躍推進を積極的に取り組んでいる企業の事例勉強会
- ② 委員会と連携して、県内就職を促進するための企業P Rや意見交換会
- ③ 仕事と育児の両立の負担感・不安感を緩和するためのライフデザイン研修
- ④ 異業種交流会を通じた出会いの場の創出

（9） 会員交流委員会

- ① 会員同士が交流する機会や、会員相互の連携や協力を推進する会の企画・運営を行う
- ② 各委員会と連携して、会員企業を視察する企画・運営を行う
- ③ 最新の技術やトレンドを現地で見て、新しい気付きをもたらすための海外視察の企画・運営を行う

- 会員が相互に啓発しテーマに基づき議論する「教室」と寝食を共にし気軽に親交を温める「倶楽部」を 目的に開催する熊本経済同友会最大の行事

1998年より毎年開催。2023年10月開催で26年目を迎える

参加者は同友会会員をはじめ行政、大学の関係者。近年は開催地経営者も、1泊2日で開催。1日目は「分科会」「懇親会」。2日目はエクスカージョン。

分科会は座長と副座長で進行。テーマを基に会員相互でディスカッション。

フォーラム分科会で議論した内容は、熊本県・市への提言に反映。

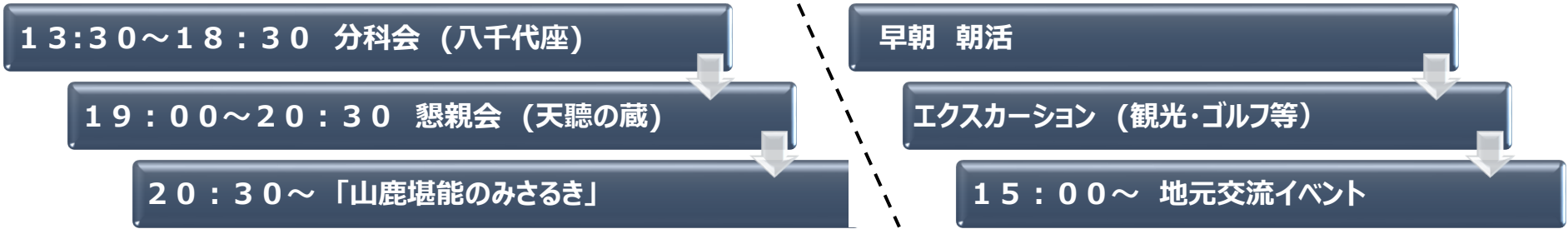
フォーラム
開催地

2021年
人吉

2022年
上天草

2023年
予定 山鹿

3. 熊本経済同友会（熊本フォーラム②）



分科会
セッション

分科会	担当委員会	テーマ (案)
1	経営活性化・DX	組織内の業務生産性向上や新たな価値の創出に繋がる自然言語処理技術(チャットGPT) の理解とビジネス活用の可能性
2	サステナビリティ	サステナビリティの実践と発信によって企業価値をさらに高める仕組みづくり
3	まちづくり	半導体関連産業の集積を契機とした熊本都市圏のまちづくりについて
4	熊本の価値創造 少子化対策・女性活躍	女性活躍から生まれる熊本の価値

エクスカー
ション

- ① 酒蔵コース 山鹿蒸留所 菊鹿ワイナリー 千代の園酒造他
- ② 映画・散策コース 「骨なし灯籠」鑑賞(山鹿でロケ) 山鹿散策
- ③ 山鹿思い出作りコース あつまる山鹿シルク工場、渋川団扇 リッカ
- ④ 親睦ゴルフ 司ロイヤルゴルフクラブ

地元交流
イベント

自衛隊音楽隊と
地元学生との演奏
コラボ(案)

2022年度 熊本県・熊本市への提言

『選ばれる熊本を共創する ～課題克服へ7つのアプローチ～』

（1）コロナ禍克服

- ① 医療提供体制の強化 ② 科学的知見・海外先行事例に基づく流行時の経済活動維持
- ③ 影響を被る事業者への事業継続支援、業態転換支援等施策の展開

（2）経済・産業振興

- ① 工業団地の増設、人員・人材確保・育成取組強化 ② 設備投資や企業進出のための補助制度拡充、国の支援策引き出し ③ 県産品のブランド化、六次産業化支援強化 ④ 国内・海外販路拡大のための支援強化

（3）渋滞対策（交通インフラの早期整備）

- ① 「熊本都市圏総合交通戦略」の完遂
- ② 「熊本県新広域道路交通計画」に示された「10分・20分構想」の早期実現、高規格道路ネットワーク整備の着実な進展
- ③ 災害復旧、主要交差点の立体交差化、跨線橋・アンダーパス整備、豊肥線高架化等の着実な進展
- ④ 鉄道網の本格復旧、空港アクセス鉄道早期着工に向け、国や関連自治体、鉄道事業者との調整、速やかな方針策定
- ⑤ 公共交通利用促進、及び持続可能な公共移動サービス体系の検討

（４）観光振興・中心市街地活性化

- ① ツーリズムのバリエーション拡充によるロングステイ化
- ② 九州内での地理的優位性を活かした隣県との連携、行動起点としての地位向上
- ③ 阿蘇くまもと空港の国際線受け入れ早期再開、複数の国際都市間との路線誘致・拡充、空港運用時間の延長

（５）人口減少対策

- ① 共働き世代に向けた住民誘致活動、シティプロモーション
- ② 教育の充実（ライフデザインの普及）
- ③ 介護支援策の展開
- ④ 少子化対策（出会いの場の創出・妊娠から子育て期間の環境・制度充実）の展開
- ⑤ 育児・介護休業後の職場復帰支援

（６）人材育成・確保・教育

- ① 学生就職支援（県内就職者奨学金返済免除制度等）、UIターン推進、各種の国の支援策の引き出し
- ② 外国人材活用に向けた規制緩和・支援、外国人材特区設置
- ③ GIGAスクール構想の一層の進展
- ④ インターナショナルスクール、様々な特徴を持ったブランド校・学科の誘致・設立
- ⑤ 起業家支援・起業マインド醸成

（７）未来に向けて（SDGs／カーボンニュートラル／DX）

- ① DX・デジタル化に関する助成金・補助金等支援制度創設・拡充、国の支援策引き出し
- ② くまもとDXコンソーシアムを通じたパイロット事業の推進
- ③ 自治体DXによる業務の非対面・デジタル化の一層の促進
- ④ 産官学で共有できる統一データベース、プラットフォーム作り

1. プロフィール

2. 熊本県の現状

3. 産学官金連携による地方創生の取組① 【熊本経済同友会】

4. 産学官金連携による地方創生の取組② 【肥後銀行】

5. まとめ

その地域に
どのような地銀があるかによって
その地域の未来が変わる



私達の存在意義 = パーパス

私たちは、お客様や地域の皆様とともに、
お客様の資産や事業、地域の産業や自然・文化を
育て、守り、引き継ぐことで、
地域の未来を創造していく為に存在しています

熊本大学「包括連携協定」2021年6月締結



【連携協定項目内容】

1. 地域企業と熊本大学との共同研究に関すること
2. 地域の課題解決・発展に関すること
3. 熊本大学の研究成果の事業化促進及び大学発ベンチャーの支援に関すること
4. 人材育成・交流の推進に関すること
5. 熊本大学の保有資産の有効活用に関すること
6. 熊本大学が受け入れる寄附金拡大に関すること
7. その他、協議の上合意する事項

クラウドファンディング活用支援

菊池市佐野地区 地域課題解決PJ
(株) グローカルクラウドファンディングによる連携
 課題：後継者不足、地域特産品が無い
 目的：地域の若手農家増加、特産品の開発
 内容：菊池市佐野地区で多く生産されている米、栗を活用した、商品の開発
 実績：**83万円**

耕作放棄地減らせ!! 魅力発信



菊池市の棚田とクリ林
熊大生 農作業手伝い、CF

熊本県菊池市にある「棚田とクリ林」は、耕作放棄地が増えている。熊大生が、農作業手伝い、CFを通じて、地域の魅力を発信し、若手農家の増加を促している。

インターンシップの取組・金融リテラシーセミナー開催

肥後銀行×熊本大学理系学生限定
1day仕事体験デジタル編

日程 2023年1月29日(日) 9:30~12:30
 開催方法 対面
 会場 肥後銀行本店 熊本県熊本市中央区神兵衛1番地
 参加対象 熊本大学 理系学部及び理系大学院在籍者
 内容 システム企画体験、座談会 など
 実行期間 2022年12月12日(月)~2023年1月20日(金)

日程	テーマ	場所
1/30(日)	デジタル編(理系限定)	Web開催のみ
2/7(月)	事業性融資編	【午前】対面 肥後銀行本店
2/10(金)	住宅ローン編	
2/15(火)	コンサルティング営業編	【午後】Web
2/17(木)	SDGs編	
2/22(火)	マーケット編	
2/24(木)	地方創生・クラウドファンディング編	
実施時間	午前 9:00~12:30 午後 13:30~17:00	
申込受付期間	2021年12月13日(月)~2022年1月14日(金)	
参加対象	学年不問(デジタル編は理系学生のみ)	
定員	午前午後 各15名程度 ※定員を超えた申し込みがあった場合は抽選させていただきます	

金融リテラシーセミナー
「今求められる資産形成とは？」

16:30 開会・挨拶
 熊本大学理学部・熊本県立理系連携推進課 学長 広尾
 16:35 「熊本大学と肥後銀行との連携協定について」
 株式会社肥後銀行 取締役副社長 津野 伸行 氏
 16:40 「今求められる資産形成とは？」
 株式会社肥後銀行 アドバイス・アドバイザーアソシエイト 大塚 芳樹 氏
 株式会社肥後銀行 取締役副社長 津野 伸行 氏
 17:10 閉会挨拶
 17:20 閉会・挨拶
 株式会社肥後銀行 理事 取締役副社長 津野 伸行 氏

開会までしばらくお待ちください。

4. 肥後銀行の取組み（県立大学連携）

地域ビジョン	球磨川流域の「 緑の流域治水 」を核とした大災害後も安全・安心に住み続けられ、豊かな環境と若者が取り集う持続可能な地域の実現
参画機関	<p><代表機関> 熊本県立大学</p> <p><幹事機関> 肥後銀行、熊本県</p> <p><参画機関> 熊本大学、東京大学、九州大学、名古屋工業大学、地総研、三井住友海上、テレビ熊本、地元企業等</p>
研究開発課題	地域ビジョン実現に向け、5つの研究開発課題に取り組む

JSTの大型予算
「共創の場形成支援
プログラム」採択

補助額：年間最大2億円×10年

【評価された点】・全国に類を見ない自然共生型の「新たな治水」
・**幹事機関として地域金融機関参画**

➤ 国の予算支援を受け、産官学金で同地域の創造的復興に取り組む

連携協定締結

2023年3月DX推進に関する連携協定締結



<協定項目>

1. 地域課題解決等のためのDX推進に関すること
2. 地域DX人材の育成に関すること
3. 甲乙丙間の人材育成・交流の推進に関すること

DXシンポジウム開催

- 地域でのイノベーション創発・DX推進を目的としたシンポジウム開催



<登壇者>

総務省情報通信部長 森本部長
熊本県デジタル戦略局 小金丸局長
熊本市 大西市長
崇城大学 IoT・AIセンター 星合センター長
肥後銀行 デジタルイノベーション室 高田室長 他

仮想空間デザインコンテストの開催

- 仮想空間の演出技術を競う学生コンテストを開催。
- 学生約200名 (26チーム) 参加



ノーコードツール体験会の開催

- プログラミングの知識不要でアプリ開発が出来る、ノーコードツール「Bubble」の体験会を首都圏外で初開催。
- 地元企業の社員や学生等17名参加



4. 肥後銀行の取組み（県内高校連携）

- 熊本県教育委員会および八代工業高校および文部科学省と連携し、地域産業人材の育成システムを構築する取組み（文科省：マイスターハイスクール事業）

運営委員会・事業推進委員会の開催



運営委員会



事業推進委員会

産業実務家（企業からの講師派遣）による授業



産業講話（肥後銀行）



出前授業（九州デジタルソリューションズ）

<実施概要>

- 人材育成の実実施計画（マイスター・ハイスクールビジョン）策定・検証
- マイスター・ハイスクールビジョンに基づいた教育課程刷新の方向性を検証

<実施概要>

- 産業実務家による授業を延べ400時間実施
- 当行とグループ会社からも講師を派遣
- 高校生353名を対象とした産業講話や、約40時間のIoT・プログラミング等の授業を実施。

中・南九州の地域循環共生圏に関する連携協定



2020年1月18日協定調印式

連携協定先：環境省、肥後銀行、鹿児島銀行、大分銀行、宮崎銀行

<連携分野>

1. 国立公園等の地域資源の持続的な活用を通じた地域活性化に関する事項
2. SDGs普及・啓発に関する事項
3. ESG融資等の推進に関する事項

阿蘇くじゅうサイクルツーリズム推進



<開催のイベント概要>

- ・大分銀行と協働で、阿蘇くじゅう国立公園への誘客とサイクルツーリズムの推進のためにイベントを毎年開催
- ・今後、インバウンド誘客へと繋げていく
- ・阿蘇くじゅう国立公園でのサイクルツーリズムを誘発する動画を作成

➤ 八代市と連携し、市民シンポジウムをはじめSDGsに関する様々な取組みを実施



<市民シンポジウム開催>

<ガイドブック作成>

<オリジナルロゴマーク製作>

山鹿市事業者向けSNSセミナー開催



<セミナー風景>



<学生による企業視察>

<山鹿市の事業者へのSNS活用セミナー>

- ・当行、山鹿市にぎわい創出協議会（山鹿市・山鹿市商工会議所・山鹿市商工会）、熊本学園大学が連携した取組
- ・コロナ禍における事業者の売上拡大支援として全3回のSNS活用セミナーを開催
- ・セミナーと併せて、学生によるセミナー受講企業の視察と、学生目線での効果的なSNS活用方法のフィードバックを実施

阿蘇大観の森を活用したサイクルツアーの造成



<事業者HPにて一般販売>



<学生によるモニターツアー>

<サイクルツアーを活用した環境保全の取組>

- ・阿蘇の牧野や、当行が植樹活動を行う「阿蘇大観の森」を巡るサイクルツアーを造成
- ・利用料の一部を環境保全料（1,000円/名）として環境維持活動団体に寄付
- ・当行、肥後の水とみどりの愛護基金、阿蘇地域アクティビティ事業者、環境省、阿蘇市等と連携した取組

- 2016年に熊本版DMO組織として、当行と熊本県の出資により「株式会社くまもとDMC」を設立
- 「観光活性化」を軸に、地域の皆様と連携しながら、「熊本の魅力」を世界に発信

会社概要

会社名	株式会社 くまもとDMC
代表者	磯田 淳（元 熊本県商工観光労働部長）
所在地	熊本市中央区水前寺公園15-30
設立	2016年12月9日
従業員数	13名（うち当行からの出向者7名）
株主	熊本県、当行、熊本未来創生ファンド
事業内容	観光地域づくり事業 （観光コンテンツ造成 ふるさと納税・情報発信 等） 県全体を活動領域とする、県内唯一の 観光庁認定「地域連携DMO」

関係者を“つなぐ”が当社のキーワード



「地域と市場」や「地域と専門家（ネットワーク）」をつなぎ稼げる観光地域づくりの実現

くまもとDMCの取組み事例

くふるさと納税の取組



熊本県の人気ランキング



【年6回定期便】くまもとの柑橘定期便 不知火 デコポン 温室みかん 一番出荷…

50,000 円

1年中みかんを楽しめる柑橘ファンにはたまらない定期便です。

常温 定期便 別送



ジュシー みかんジュース100% (学給)125ml×40個 紙パックケース

10,000 円

国産の厳選された温州みかんを飲み易く仕上げたジュースです。

常温 別送



【6か月連続定期便】熊本便り!旬のフルーツ単品定期便

60,000 円

熊本県産フルーツを連続6ヶ月間、毎月お届けします!

常温 冷蔵 定期便 別送



【2024年2月発送開始】熊本県産ブラッドオレンジ 約5kg オレンジ果物

10,000 円

美しい果汁は他の柑橘にはないコクと酸味がお楽しみいただけます。

冷蔵 別送



【2024年2月上旬発送開始】熊本産のトマト 三昧(ミニ2kg+桃太郎トマト14個)…

10,000 円

くまもとのトマト三昧セットです。

常温 別送



【2024年1月発送開始】ぼめろまん 大玉 6個入り 柑橘類

24,000 円

爽やかでまろやかな甘さが特徴で果肉のプチプチとした弾力がやみつきになります。

常温 別送

<球磨焼酎の販路拡大プロジェクト>



吉本新喜劇

球磨焼酎消費拡大プロジェクト

人吉特別公演



4. 肥後銀行の取組（販路拡大①）

鹿児島

熊本

宮崎

2023年4月
誕生

株式
会社

九州フィナンシャルグループ
九州みらいCreation

〈事業内容〉ECモール事業／海外ビジネス支援事業 等



Kyushu FG

九州フィナンシャルグループ



肥後銀行



鹿児島銀行



2023.6.2
OPEN

南九州のイイもの大集合!
よかもーる



www.yoka-mall.com

南九州の魅力的な
逸品が大集合

地域生産者の顔が見える
心温まるモール

4. 肥後銀行の取組（海外事務所①）



※「香港」については、熊本県貿易協会香港事務所への出向

当行拠点	対象エリア
上海駐在員事務所	中国
香港駐在員	香港
台湾駐在員事務所	台湾

ネットワーク先	対象エリア
玉山銀行	台湾
カシコン銀行	タイ
ベトナム銀行	ベトナム
メトロポリタン銀行	フィリピン
バンクネガラ・インドネシア	インドネシア

提携外国銀行

＜業務内容＞

- ・ 現地情報の収集、取引先への提供
- ・ 現地における当行取引先への支援
- ・ 現地企業とのマッチング支援
- ・ 現地商談会への出店フォロー
- ・ 視察、研修団の受入、アテンド など

肥後銀行 台北 駐在員事務所のご案内

日商肥後銀行股份有限公司 台北辦事處



台湾市場についての最新情報提供やビジネス拡大支援など、
お客様の課題解決に努めてまいります。
ぜひ肥後銀行「台北駐在員事務所」をご活用ください。

2023年6月28日開設



- ① お取引先の台湾進出および貿易取引拡大などに対するサポート
- ② 台湾における観光分野およびサービス・技術などの各種産業分野での交流促進支援
- ③ 台湾における経済・金融・貿易事情などの情報収集および情報提供
- ④ 台湾の政府機関・金融機関その他関連機関などとの関係強化

名称	スタートアップ ハブ くまもと (略称：スタハブくまもと)
開設日	2022年4月4日 (月) OPEN * 営業時間：平日10時～18時
場所	肥後銀座通ビル
対象	熊本県内の創業・開業を目指す個人・法人
業務内容	①創業・開業に必要な金融及び非金融サービス ②事業承継・M&A 等

2022年4月～2023年3月 実績



項目	実績
開業相談件数	378件
新規開業/融資金額	193件/17億400万円
雇用創出数	535人
創業・開業ファンド	32件/7,160万円
セミナー	18回/396人参加
ビジネスマッチング	120件

「熊本県における次世代ベンチャーの発掘と育成に向けた連携協定」



- 2016年2月に当行・熊本県・熊本大学・熊本県工業連合会・リバネスの5者にて「熊本県における次世代ベンチャーの発掘と育成に向けた連携協定」を締結

熊本テックプランター



- 県内のベンチャー創出・育成の取組「熊本テックプランター」を開始、毎年7月に「熊本テックプラングランプリ」開催

＜これまでの活動実績＞ 2023年7月現在

- ・参加：214チーム（研究者、学生、企業）
- ・ベンチャー企業化：15社（うち熊本大学発 11社）
- ・資金調達実績：約20億円（融資1.3億円、出資19億円）

創造的復興に向けて熊本から世界へ

次世代ベンチャーコンテスト

熊本テックプラン
グランプリ

ベンチャーへの金融支援

肥銀ギャップ資金制度

肥銀ベンチャーファンド

ベンチャーを研究支援の段階から一気通貫で支援を実施



熊本大学発ベンチャー11社 (赤囲)



AMI株式会社

超聴診器による遠隔医療・診療の実現



株式会社サイデン

シクロデキストリンを活用した医薬品の開発



株式会社キューオール

超免疫不全マウスの開発

株式会社熊本機械

株式会社熊本機械

水撃音響法による非破壊検査

チャーリーラボ

株式会社チャーリーラボ

生体吸収性医療機器の開発

K. I. Stainer Inc.

Make the color for cures

株式会社ケイ・アイ・ステイナー

最適な治療薬へ導く新しいがん診断システムの開発



サイエンスファーム株式会社

探索した化合物の創薬品への応用



熊本大学発ベンチャー

株式会社 くまもとファーマ

KUMAMOTO PHARMA

株式会社くまもとファーマ

天然資源を活かした難病治療薬の創生



クアドリティクス株式会社

ウェアラブル機器でてんかん発作を予知する



株式会社CAST

ゾルゲルスプレー法を基盤技術とした圧電センサ



株式会社StapleBio

Staple核酸技術に基づく医薬品等の研究開発



トイメディカル株式会社

塩分吸収抑制「排塩サプリ」開発



合同会社プロバイオ

大学発機能性乳酸菌活用
新規機能性発酵食品の創出



プロバイオ



合同会社LST

血小板を用いた不妊治療の開発



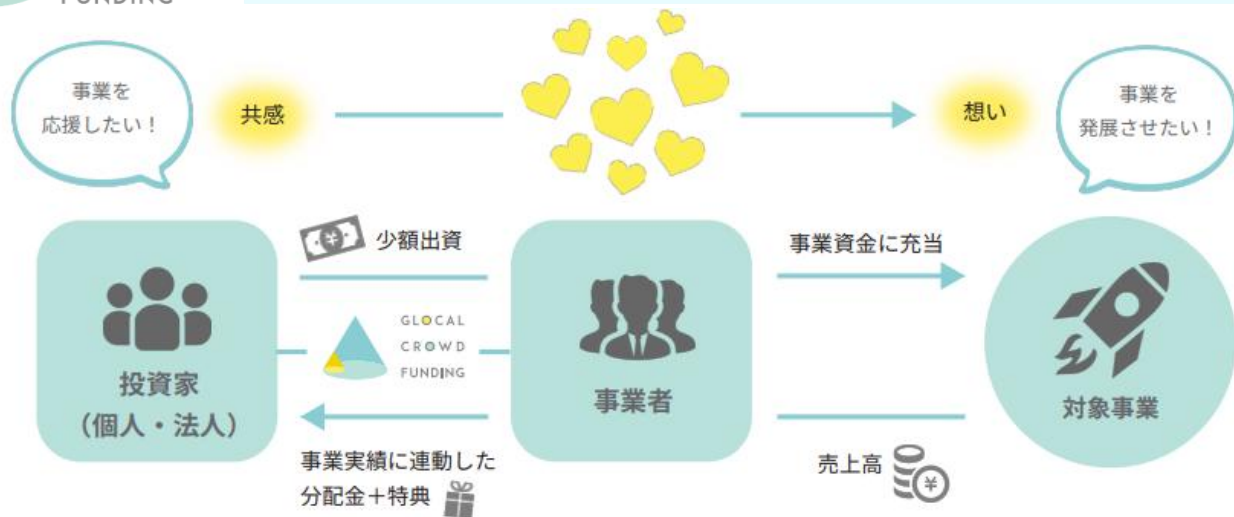
歯っぴー株式会社

カメラを搭載したスマート歯ブラシの開発

熊本大学から11社、東海大学から1社を含む15社のベンチャー誕生



株式会社グローバル・クラウドファンディング



実施プロジェクト例

寄付型

永年愛されてきた共同浴場「穴湯」のある風景を残したい



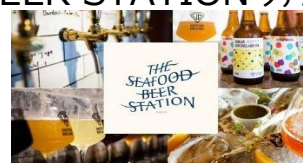
購入型

熊本県産品×インフルエンサープロジェクト



事業投資型

熊本駅発 THE SEAFOOD BEER STATION ファントム



1. プロフィール

2. 熊本県の現状

3. 産学官金連携による地方創生の取組① 【熊本経済同友会】

4. 産学官金連携による地方創生の取組② 【肥後銀行】

5. まとめ

パラダイムシフト

その時代や分野において
当然のことと考えられていた
認識や思想、社会全体の価値観などが
革命的に、もしくは劇的に変化すること

例

地動説（コペルニクス、ガリレオ）
相対性理論（アインシュタイン）
進化論（ダーウィン）
産業革命（蒸気機関と電気の発明）
資本主義（アダム・スミス）
競争・革命等の後の劇的な政治体制変化
大化改新、明治維新、第二次世界大戦終戦・・・

必ず兆候があり、
変化は少しずつ進む。

振り返ってみれば
結果は劇的



Society 5.0
サイバー空間と
現実世界が
高度に融合された
世界

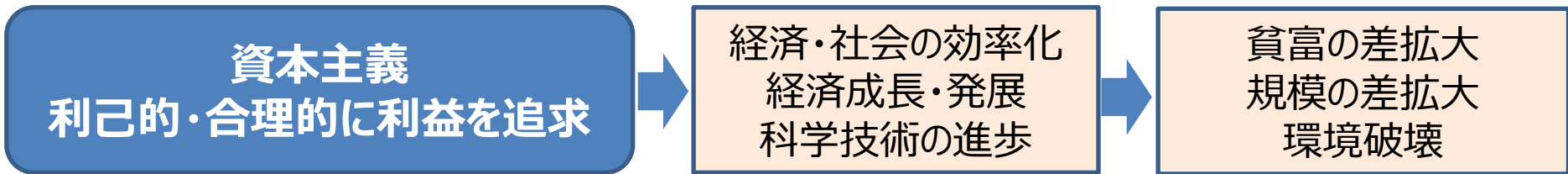
- X-Tech**
- ・ フィンテック（金融）
 - ・ アグリテック（農業）
 - ・ リテールテック（流通）
 - ・ エデュテック（教育）
 - ・ メドテック（医療）

**DX : Digital Transformation
(デジタルトランスフォーメーション)**

ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面で
より良い方向に変化させる

2004年 スウェーデン・ウメオ大学 エリック・ストルターマン教授
提唱

第二次産業革命時における蒸気機関から電力へ、馬車から自動車へといった旧技術から新技術への転換期には、新旧の両技術が併存することに加え、新技術から新たな産業や雇用が生まれた。組織や社会の様々な仕組みを見直すことまで含め技術を活用し、生産性を向上させられるか否かで、それ以後の地域や国の経済成長は明暗が分かれてきたことは重要な教訓。



- 【会社は誰のものか】 株主資本主義→ステークホルダー資本主義
- 【会社の目的】 利益の追求→社会的課題の解決
- 【マーケティング】 集団への働きかけ→人格を持った人間の尊重

資本主義の終焉？（パラダイムシフト）

社会・世界の持続可能性

**社会価値と経済価値との
「共通価値の創造（CSV）」**

エコシステム（生態系）の一員として全体感を持って社会を捉えなおす必要

利益の追求

+

Corporate Social Responsibility

CSR = 企業の社会的責任

事業活動で得た収益をもとに行う、寄付や奉仕活動



Creating Shared Value マイケルポーター教授提案

CSV = 共通価値の創造

企業活動は経済的価値を生み出すと同時に社会的価値も生み出す必要

社会の発展に資する共通価値の創造自体を企業の戦略に組み込む必要がある



【キーワード】
SDGs、DX、地方創生

地方創生とは

地方創生とは、都市と地方の経済の格差をなくし、日本全体の国力を高めることを目的とした施策

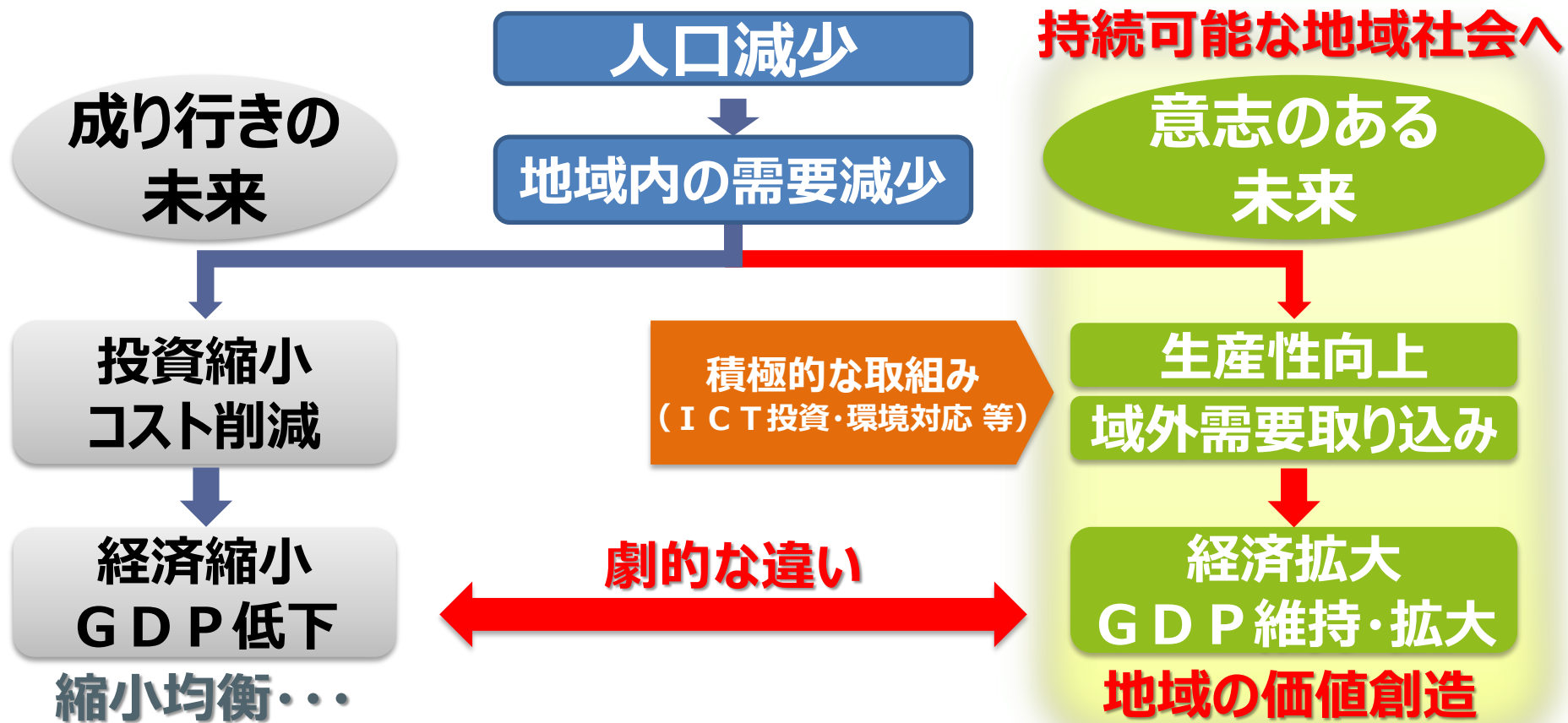
〈4つの基本目標〉

1. **稼ぐ地域**をつくとともに、安心して働けるようにする
2. 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. ひとが集う、安心して暮らすことができる**魅力的な地域**をつくる

出展：内閣府「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

地域における社会課題をビジネスを通じて解決し、
マネタイズへ繋げる

地方創生×ビジネス = C S V



熊本の強みを活かす



地域資源：歴史、自然、文化、食、観光 ⇒ 経済資本に繋げる

5. 学生の皆様へのメッセージ



